

## 自社ブランドを立ち上げ、下請け体質から脱却 独自の製造技術を強みに海外へも広く展開

同社は、1950年に設立された奈良県葛城市の靴下製造業者である。これまでのノウハウや経験、ニット技術を活かして開発したニット製健康関連商品や靴下を主力製品とし、現在はOEM生産が過半数である。しかし、2013年より、自社の旧式ニット機（オールドマシン）と最新の編み機を活かした高い製造技術と天然素材糸を用いることで豊かな履き心地を実現。利用者の使用シーンにフィットした靴下を開発、自社ブランドによる国内外の展開を進め、順調に事業を拡大させている。

所在地	奈良県葛城市木戸195-7	設立	1950年
電話/FAX	0745-48-4381/0745-48-6048	資本金	1,000万円
URL	<a href="https://knitwin.com/">https://knitwin.com/</a>	従業員数	55人
代表者	代表取締役 西口 勝博 (右写真は、専務取締役 西口 功人)		



### 調整使用が難しいオールドマシンと編み立てが困難な天然素材を活用した編み立て技術

同社製品の長は、天然素材糸（ウール・リネン等のブレンド糸）を使用し、調整使用が大変難しいオールドマシンで生産されている点である。オールドマシンは手間暇がかかるが、熟練技術者の微細な調整でリネンや特殊な紡績のウール、リネンとウールの混紡糸など糸の風合いや質感が異なるさまざまな天然素材のよさを製品に反映させることができる。化学繊維は強度があり加工しやすいが、汗の吸収性、放湿性等の風合いは天然混合糸が遙かに優れている。大量生産方式の諸外国では模倣困難な同社の優位性である。



オールドマシーンでの製造

### こだわりセレクトショップへの展開とECサイトによるブランド強化により収益性向上

収益性の高くないOEM生産依存からの脱却を目指すべく、自社ブランド製品「NISHIGUCHI KUTSUSHITA」を立ちあげた。地方のこだわりコンセプトショップやセレクトショップに展開、直接取引してコアなファンを獲得することに成功した。SNSによる丁寧な情報発信で新たなファン層の獲得と自社ブランド強化の循環により、収益性向上に寄与している。直接価値を伝える直営店をオープンさせ、外部環境が変化するなかでも売り上げが確保できるシステムの構築に成功している。



大阪の直営店

### JETROとの連携による欧米セレクトショップ開拓とECサイト販売の成功

天然素材の編み上げ技術を強みとして、現在オーストラリア、台湾、米国、EU諸国に展開している。2017年ジェトロのセミナーの参加を契機に、「新輸出大国コンソーシアム」を利用。2019年からはジェトロ専門家の支援のもと、パリやニューヨークにおいて主要な展示会に出展して新規顧客を発掘し、海外販路の開拓を進めてきた。その結果、海外ではイギリス、アメリカ、オーストラリア、カナダ等、25か国、約160店舗のショップで商品が扱われ、ショップのECサイト販売も海外展開に寄与している。



広く海外へ展開